中間評価と評価報告書（仮称）の目次構成　対比表

資料 - 3

霞ヶ浦湖岸植生帯の緊急保全対策評価検討会　中間評価

はじめに

第1章　これまでの湖岸植生帯の緊急保全対策の検討経緯
- 1．1．霞ヶ浦の湖岸植生帯の緊急保全対策検討の経緯

第2章　湖岸植生帯の緊急保全対策の考え方
- 2．1．緊急保全対策検討の背景
  - （1）湖岸植生帯減退の状況
  - （2）湖岸植生帯減退の要因
- 2．2．緊急保全対策の考え方
  - （1）緊急保全対策の目的と再生イメージ
  - （2）減退要因から考えられる有効な対策の検討
  - （3）対策と構造タイプ
  - （4）植生の復元手法

第3章　緊急保全対策工の整備
- 3．1．各地区の再生目標と採用工法の考え方
- 3．2．整備施設の一覧
- 3．3．設計条件の整理
  - （1）外力
  - （2）土質条件
  - （3）地形条件：湖底勾配、配置水深
  - （4）施設の配置計画について

第4章　モニタリング調査
- 4．1．モニタリング項目
- 4．2．仮説体系および仮説の評価視点毎のモニタリング結果

第5章　緊急保全対策の中間評価
- 5．1．評価の視点整理
- 5．2．知見のまとめ
  - （1）生育場に関する知見
  - （2）生物の生息・生育状況に関する知見
- 5．3．順応的管理の実施状況
  - （1）沿川住民の参加による植栽および管理活動
  - （2）沿川住民の参加による順応的管理活動
- 5．4．得られた主な知見の総括
- 5．5．評価と課題の抽出

第6章　今後の方針
- 6．1．ワンド、粗朶消波工に関する今後の方針
- 6．2．霞ヶ浦湖岸植生再生技術指針（案）の作成に向けて

おわりに

霞ヶ浦湖岸植生帯の緊急保全対策　評価報告書（仮称）

1．はじめに

2．緊急保全対策の目的・目標
- 2．1．背景
- 2．2．湖岸植生帯整備の目的
- 2．3．緊急保全対策の目的・目標
  - （1）緊急保全対策の目的
  - （2）保全・再生の目標

3．緊急保全対策の考え方
- 3．1．湖岸植生帯の減退要因
- 3．2．保全・再生対策の基本的考え方
- 3．3．保全・再生対策工の設計の考え方と内容
  - （1）消波工
  - （2）養浜工
  - （3）植生活着補助施設工

4．緊急保全対策地区の選定
- 4．1．候補地の選定
- 4．2．緊急対策地区の選定条件
- 4．3．緊急保全対策地区の選定

※【資料編】2.2.緊急保全対策整備地区の選定

5．緊急保全対策工の地区別評価(保全地区)
- 5．1．保全地区の工法一覧
- 5．2．麻生地区
- 5．3．爪木地区
- 5．4．梶山地区
- 5．5．石田地区
- 5．6．古渡（下流）地区
- 5．7．根田（下流）地区

6．緊急保全対策工の地区別評価（再生地区）
- 6．1．再生地区の工法一覧
- 6．2．鳩崎・余郷入地区
- 6．3．古渡（上流）地区
- 6．4．境島地区
- 6．5．石川地区
- 6．6．永山地区
- 6．7．大船津地区
- 6．8．根田（上流）

※【資料編】3.各地区の標準断面
※【資料編】4.植生再生実施状況
※【資料編】5.モニタリング調査実施状況
※【資料編】6.モニタリング調査結果
※【資料編】7.知見の目標に対する評価
※【資料編】8.各地区の生育場に関するとりまとめ
※【資料編】9.湖岸植生帯の再生パターン
※【資料編】10.魚介類、底生動物調査

7．緊急保全対策工の全体評価
- 7．1．緊急保全対策工の評価
  - （1）生育場及び生物の生息・生育状況
  - （2）緊急保全対策工の効果
  - （3）生物生息環境の改善効果
  - （4）目的・目標の達成度
- 7．2．住民等による活動
  - （1）住民活動の実績
  - （2）住民活動における課題
- 7．3．今後に向けた展開
  - （1）緊急保全地区の維持管理
  - （2）霞ヶ浦における今後の展開
  - （3）霞ヶ浦の湖岸植生帯の保全・再生に関する手引き（案）の活用

巻末資料　学識者の見解

※青字は、中間評価【本編】にない追加項目